

ぼうさいこくたい 2025 in 新潟 視察報告書

視察日程:2025 年 9 月 6 日~7 日

会場:朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター

主催:防災推進国民大会2025実行委員会(内閣府)

参加人数:6名

1. はじめに

この度、ぼうさいこくたい 2025 in 新潟に参加し、損害保険代理店の一員として多くの学びを得ることができました。防災・減災は社会全体の取り組みであり、私たち代理店もその一翼を担うべき存在であることを改めて認識しました。

2. 展示・ブースの印象

- 行政・企業・学校・地域住民など多様な主体が参加
- 高校生・大学生の積極的な防災活動が印象的
- 企業による防災関連グッズ(食料、飲料水、トイレ、アウトドア用品、ドローン等)の展示が豊富

3. セッション参加内容

① コミュニティ防災セッション(9 月 6 日)

関川村・村上市の豪雨災害事例をもとに、地域住民と自治体の連携による迅速な避難行動が命を守る鍵であることを学びました。防災は行政任せではなく、コミュニティが主体となるべきであると実感しました。

② 中越地震の経験を次世代へ(9 月 7 日)

科学的分析と住民・報道者の実体験を通じて、参加者が「自分事」として防災を考えるきっかけとなりました。備蓄の重要性や「安心感」の価値を再認識しました。

4. 実体験プログラム

避難所運営や情報伝達の難しさを体験。災害時には正確で迅速な情報提供が被害軽減に直結することを学びました。

5. 今後の展望とアクション

- 情報発信: 住民に分かりやすい防災情報を発信。
- 地域連携: 防災団体や学生団体との連携を強化。
- セミナー開催: 民間企業との連携による会員向けセミナー開催。
- 備蓄品販売推進: 各保険会社のソリューションを活用した備蓄品の販売促進。
- 11月の損保協会関東支部との連携事業の成功: 主催者として運営・集客に注力。

まとめ

第1回開催時には61団体の出展から始まり、今回第10回目の開催では470団体が参加するまでに規模が拡大しており、年々防災・減災への関心が高まっていることを実感しました。

視察にあたっては、事前に出展ブースやプログラムを確認しておかないと、すべてを見回ることが難しいほどの規模となっており、次回以降の視察では事前準備の重要性を強く感じました。

「防災とは官民が一体となって完成するもの」であり、地域において代協が担える役割はまだまだ多くあります。今回の視察を通じて得た知識と経験を活かし、地域防災活動や発災後のボランティアに積極的に参加し、リーダーシップを発揮してまいります。